

中部ブロックの紹介

長野県健康福祉部食品・生活衛生課

小山 富美香

【新潟県】新潟支部は、公衆衛生獣医師64名の会員が所属しており、県庁・保健所・保健環境研究所・食肉衛生検査所・動物愛護センターに所属し、公衆衛生業務で活躍しています。県・市の獣医師同士、和気あいあいと協力し、交流をしています。新潟県は、上越・中越・下越の3地域からなり、昨年、佐渡は世界遺産となりました。たま〜に大雪になりますが、海・山の幸、話題のお米、お酒など美味しいものが揃っています。3月には「新潟酒の陣」も開催されます。是非、遊びに来てください！



【富山県】富山県支部は、富山県・富山市の公衆衛生獣医師49名で構成されています。食の安全確保、動物愛護、感染症対策など様々な業務に従事しています。研修会や学会発表、情報交換会を通じて、専門知識や技術を培い、親睦を深めています。また、定員割れが続く公務員獣医師の確保に向け、通年募集を導入するなど、人材確保に力を入れています。

雄大な立山連峰と豊かな富山湾の幸に恵まれた地で活動中です。北陸新幹線敦賀延伸でアクセスも向上しました。ぜひ富山へお越しください。

【石川県】石川県支部は、石川県と金沢市に所属する24名の職員で構成されています。本県も他の自治体と同様、公衆衛生獣医師が少なく、大学訪問やインターンシップ等により職員の確保に努めています。なかなか難しい状況にあります。

石川県では、令和6年の元旦に発生した能登半島地震により甚大な被害を受けましたが、多くの自治体より物資の支援、職員の派遣など、たくさんの善意やご支援をいただき感謝申し上げます。さらに同年9月には奥能登集中豪雨が 발생し復興はまだまだ

の段階ですが、ぜひ石川県、特に能登に足を運んでいただければ幸いです。

【福井県】福井県支部は、福井県および福井市に所属する職員全11名の小規模な支部です。獣医師職員確保、特に若手不在が常に悩みの種です。2024年3月に北陸新幹線が県内開業し、食品衛生・生活衛生・環境衛生の業務の増加によりその経済効果を肌で感じています。また、福井県観光と言えば、恐竜・めがね・永平寺。名物は、越前ガニ・ソースカツ丼・おろし蕎麦。ほかにも、マンガやライトノベルの聖地巡礼ができますので（AIに聞いてみてください）、ぜひ一度、北陸新幹線に乗ってお越しください。

【長野県】長野県支部は、長野県・長野市・松本市の、保健所、食肉衛生検査所、動物愛護センター等で働く公衆衛生獣医師で構成されています。食品衛生行政、動物愛護管理行政等の業務に従事し、多くの会員が食品衛生監視員協議会にも所属しています。このため、公獣協・食監協合同で総会や研修会を開催しており、特に若手職員においては、山国ならではの業務に対応すべく、きのこ研修やスキー研修を企画し、自然の恵みと脅威を体感しつつ、会員間の親睦を深めています。

長野県においては、令和8年に全国食肉衛生検査所長会議及び関東甲信越静地区狂犬病予防・動物愛護管理業務連絡会議、令和10年に中部地区獣医師大会・獣医学術中部地区学会の開催が予定されています。長野県へお越しの際には、ぜひ、雄大な山並みや自然の恵み溢れる食事をご堪能いただければ幸いです。

【岐阜県】岐阜県支部は岐阜県と中核市の岐阜市に所属する公衆衛生獣医師で構成されています。

日本のほぼ中央に位置し、豊かな森林と美しい清流に恵まれた岐阜県は住んでよし訪れてよしの地域づくりを推進しています。雄大な自然に抱かれた飛騨地方は、世界遺産白川郷や世界に誇る銘柄牛「飛騨牛」の生産が盛んであることで知られています。一方、歴史と産業が栄えた美濃地方は、岐阜城、美濃和紙、刃物、鶺鴒、清流で育まれた鮎等、伝統と美食を楽しむことができます。多様な魅力を持つ「飛騨」と「美濃」を巡る旅へぜひお越しください。

【静岡県】静岡県支部は静岡県、静岡市及び浜松市の職員による111名で構成されています。静岡県は、世界文化遺産である富士山をはじめ、世界ジオパーク認定を受けた伊豆半島、海の幸の宝庫である駿河湾など、豊かな自然環境や地域資源に恵まれた地域です。空港、新幹線、高速道路など、交通アクセスも充実しています。また、本年度、静岡県動物愛護センターを移転整備し、動物愛護の拠点として、動物の命をつなぎ、魅力的な集客事業を行ってまいります。食、自然、文化の魅力溢れる静岡県へ、皆様是非遊びに来てください。

【愛知県】愛知県支部は、愛知県、名古屋市、豊橋市、岡崎市、一宮市、豊田市の公衆衛生部局獣医師163名で構成されています。本年、2026年には、アジア・アジアパラ競技大会が、本県はじめ東京、大阪、岐阜、静岡の競技会場で開催されます。多くの選手や観客が、国内外から見込まれることから、新興・再興感染症対策や食の安全など、様々な場面で公衆衛生獣医師の活躍が期待されます。本県には、ジブリパークや多彩な発酵食文化、日本六古窯である瀬戸焼・常滑焼があります。特色ある文化や産業のある本県に、ぜひ一度足を運んでみてください。

九州ブロックの紹介

九州公衆衛生獣医師協議会では、各県支部が地域の実情に応じた取り組みを展開し、動物愛護、乳肉衛生、食品衛生の各分野で多様な活動を進めています。九州は畜産県が多く、また自然災害の発生頻度も高い地域であることから、平時・災害時双方を見据えた公衆衛生体制の強化が重要なテーマとなっています。

動物愛護分野では、共通課題を抱えつつも地域特性に応じた施策が求められます。特に熊本県では、平成28年熊本地震を踏まえ、災害時の動物救護体制整備が柱となっています。熊本県動物愛護センターを中心に、県・市町村・動物愛護団体・獣医師会が連携した救護本部体制が確立され、備蓄物資の確保、設置訓練、同行避難の受入体制づくりなど、災害対応力と広域連携の強化が進められています。また、同センターでは行動学的知見を取り入れた譲渡前トレーニングや市民参加型啓発により、譲渡率向上にも寄与しています。

乳肉衛生分野では、食肉・乳処理施設の衛生管理高度化が重要であり、HACCP制度化以降、衛生管理計画の運用確認と改善指導が求められています。九州ブロックでは監視指導の工夫点や課題を共有し、若手育成も兼ねた合同研修会を開催しています。輸出食肉では、鹿児島県をはじめ宮崎、熊本、大分、佐賀の対米認定施設が安全基準維持と輸出拡大に貢献し、地域の食品衛生・公衆衛生力を底上げし九州から世界へ安心と信頼を届ける基盤となっています。

また、福岡県は、ワンヘルスセンターの建設やワンヘルス国際フォーラムの開催など、人と動物の健康・環境の健全性を一体として守るワンヘルスの理念に基づく取組を推進しています。さらに、アジア獣医師会連合（FAVA）のワンヘルス分野に特化した事務所（FAVAワンヘルス福岡オフィス）が福岡市に置かれ、FAVAや世界獣医師会及び福岡県等と連携するとともに、外国政府・地域、国際機関等とのネットワークを構築しています。

食品衛生分野では、地域の食品衛生水準を支えるため、各県の自治体や関係機関と連携し、食肉衛生検査体制の強化、HACCP導入支援、輸出対応施設の衛生管理指導などを継続的に実施しており、食中

熊本県食肉衛生検査所

高本 芳 寿

毒事例の疫学調査やリスクコミュニケーション研修を通じて現場力の向上にも力を注いでいます。

また、アジア地域との連携も視野に入れ、国際基準に基づく衛生管理の普及や人材育成にも取り組み、九州から安全・安心な食品供給を支える基盤づくりを進めています。



九州公獣協理事会ランチミーティングによる活発な討議

さらに、九州ブロックとして重視しているのが、若手公務員獣医師の育成です。行政分野は専門性が高く、配属後の早期育成が重要となります。熊本県で行われた研修では、動物愛護センターや食肉処理施設の視察を通じ、現場の課題を実感しながら学ぶ機会が提供され、参加者から高い評価を得ました。こうした取り組みは、九州全体の行政獣医師の人材育成につながるものであり、今後も継続していく予定です。

九州公衆衛生獣医師協議会としては、人獣共通感染症対策、動物愛護施策の高度化、広域的な食品衛生対策や災害時対応、特に公務員獣医師の確保対策など、九州全体で取り組むべきテーマが多くあります。今後も研修会や情報交換会を通じて各県支部の連携をさらに強化し、地域住民の健康と動物福祉の向上に寄与していきたいと考えています。

令和9年度には、熊本県で全国食肉衛生検査所協議会全国大会が開催されます。この機会が、九州ブロック各支部における公衆衛生獣医師協議会の活動を知っていただく場となるよう、力を尽くしてまいります。



熊本地震復旧後の熊本城